

びーだま通信

2021(令和3)年7月15日発行 No. 74

社会福祉法人 中野区社会福祉協議会
中野区ファミリー・サポート事業
TEL03-5380-0752 FAX03-5380-6027
受付 8:30~18:00 (日、祝、第3月休み)
WEB <http://www.nakanoshakyo.com>
facebook ページもご覧ください

新型コロナウイルス感染症の感染はまだまだ続きそうです。ファミリー・サポート事業の活動は、ソーシャルディスタンスがとりづらい活動です。お互い感染しないように、活動を行う際は、『新型コロナウイルス感染予防対策チェックリスト』の確認を利用会員と協力会員で行いましょう。

ただいま
ファミサポ
活動中!!

息子が小学生になったので協力の活動を始めました

今回は協力会員の活動を行っている両方会員^{くさか}日下なほ子さんをご紹介します。

(※両方会員とは、利用も、協力も可能な会員)



日下なほ子さん



●活動をしようと思ったきっかけは？

息子が幼稚園に通っていた頃、自分が用がある時、息子の預かり先に困っていたら、周りからファミサポの登録をすすめられました。結局利用しませんでした。息子が小学校になって時間にゆとりができたので、今度は協力会員として活動しようと思いました。

●実際に活動をしていかがでした？

活動の初めのうちはお互い緊張もあり、お子さんになかなか話しかけられなかったり、不安なこともありましたが、慣れてくるとおしゃべりが自然に弾むようになり楽しく歩くことができるようになりました。

お子さんが息子と年があまり変わらないので、息子が在園時に知り合いだったお母さんたちに送迎先の幼稚園で再会することもあり、懐かしく嬉しい気持ちになります。

取材で同行した日は、幼稚園へ送迎の定期的な活動でした。途中、馴染みの地域の住民や学校の先生方と挨拶し合ったり、道端の花を見たり、楽しくほのぼのと活動されているなど感じました。

日下さんのようにお子さんが学校や幼稚園に行っている間に送迎や短時間の預かりを行ったり、自宅で自分のお子さんと一緒に子どもを預かる両方会員を募集しています。詳細は事務局までお問合せください。



活動中の日下さんとAちゃん

2020年度活動概況と現状について

昨年度は、活動依頼件数が半減し、コロナの影響で活動を控えたいという協力会員もいらっしゃいました。現在も依頼件数、活動件数共に、2019年に比べると少ない状況が続いていますが、一般援助活動は感染予防を徹底し、送迎、預かり共に活動を行っています。特別援助活動の病児保育では、熱や咳のない病児の依頼でも協力会員を紹介できない状況が続いています。

2020年度活動概況

	活動件数	前年比
一般援助活動	4,268 件	46.3%
特別援助活動	47 件	8.5%
合計	4,315 件	44.1%

※今後の活動の状況は、新型コロナウイルス感染症の感染状況に伴い、変化していく可能性があります。

事故は誰にでも起きるもの？

安全確認を定期的の実施しましょう

以下は中野区ファミリー・サポート事業の活動中に起こった事故の事例です。

- ★子どもがソファの上でジャンプしているうちに顔から転落し、鼻血と下唇から出血した。
- ★マンションの透明なガラスの壁のところ、子どもが壁があることを気づかず壁にぶつかり、歯茎を強打した。
- ★学校からの帰宅時、子どもが友達との遊びに夢中になり、階段を踏み外し転落した。



この3つの事故の共通点は、全て定期的な活動で事前打ち合わせを行ってから6か月以上過ぎてから起こった事故だということです。事故は、活動が続いて慣れた頃に起こりやすい傾向があります。

また活動が長くなってくると、子どもは成長し、事前打ち合わせを行った頃と比べ、行動特性が変わったり、興味や関心が変化します。それらの変化に合わせて、事故対応の見直しをすることが必要になります。活動が長く続く時は、定期的に子どもと利用会員と協力会員で安全確認をしましょう。

いつ安全確認するの？

乳幼児期の子どもは日々成長していくので、1か月ごとに5分程度でいいので、協力会員と利用会員で安全確認をしましょう。学童期は3か月を目安に。

また、1年以上間が空いた活動については、改めて事前打ち合わせを行ってください。



安全確認でどんなことをするの？

子どもの成長の変化について、また利用会員、協力会員それぞれが事故につながりそうな不安を感じる事柄について確認しましょう。

公園などで活動している場合は活動場所に行き、子どもがケガしそうな箇所や遊具を確認します。安全確認の結果、双方で子どもの安全を守ることに不安を感じた場合、事務局にご相談ください。

協力会員には、安全確認でチェックするポイントを必須講座『安全講習』で詳しく説明します。



2021年度 安全講習、救急救命講習、養成講座が開催されます

協力会員の活動を行う方は、安全講習、救急救命講習受講が必須になります。未受講の方、前回の受講から5年経過した方は、別紙で日程を確認の上、予約して下さい。

養成講座は活動に役立つ子どもについての様々な講座があります。ぜひご参加下さい。

安全講習
受講者の声

日々事故に気をつけて活動していますが、慣れてくるとつい忘れがちになります。事故は起きるものという考えを肝に銘じようと思いました。

日常で起こりうる危険や緊急時の対応について、具体例があってわかりやすかったです。

